

企業景況調査報告書

(令和5年4～6月期)

< 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	1
質問2 直面している経営上の問題点	2
質問3 BCP策定状況について	3
質問4 意見等自由記載欄	4
DI集計結果・分布	5
調査票様式	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2023年4～6月）

調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 105 社
 （建設業 22 社、製造業 19 社、卸売業 12 社、小売業 23 社、サービス業 23 社、その他 6 社）

調査方法

各事業所に訪問、FAXにて返信依頼。

調査時期

令和5年7月上旬～令和5年7月中旬

回収状況

93社（回収率88%） ※前回（1～3月）93社
 （建設業 20 社、製造業 19 社、卸売業 10 社、小売業 18 社、サービス業 21 社、その他 5 社）

業種別の業況DIは、今期は2業種で上昇、来期は3業種で下降する見通し

<今期の状況>（5ページ表参照）

今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲5.4から6.6ポイント上昇し、1.2となった。業種別に見ると、それぞれ建設業は0（前期0）、製造業は21.0（前期▲5.6）、卸売業は30.0（前期▲40.0）、小売業は▲6.3（前期15.8）、サービス業は▲15.8（前期▲5.3）、その他の業種は▲40.0（前期▲33.3）で、2業種で上昇、2業種で下降、1業種で横ばいとなっている。

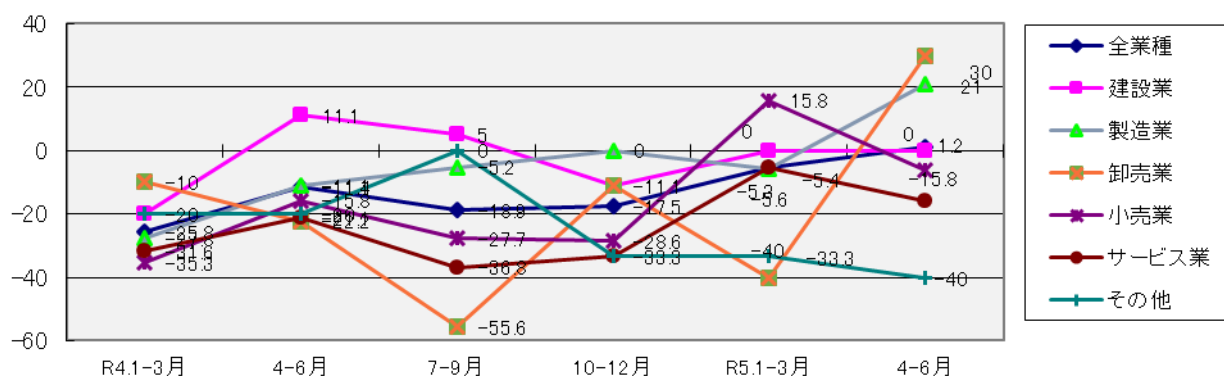
<来期の見通し>（5ページ表参照）

来期の見通し（2023年7～9月）では、全業種のDI値は前期の▲9.9から上昇し、▲8.1となった。業種別に見ると建設業は▲5.2（前期▲4.8）、卸売業は▲20.0（前期▲10.0）、小売業は▲6.3（前期0）と3業種で下降する見通しとなった。一方で、製造業は10.5（前期▲11.1）と上昇、サービス業は▲26.3（前期▲26.3）、その他の業種は0（前期0）と横ばいの見込みである。

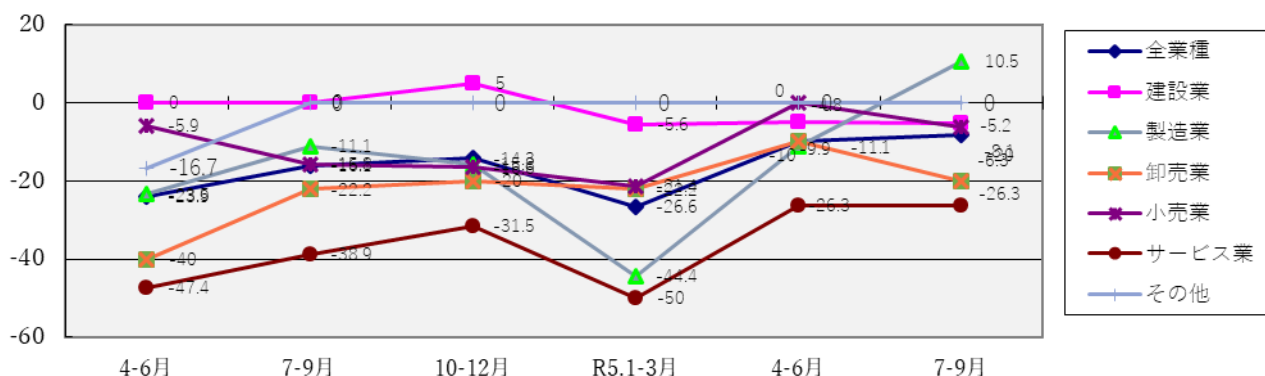
経営上における課題としては、「原材料・仕入価格上昇」が前回に引き続き全業種で上位に挙げられた。卸売業では、前回3位だった「競争の激化」が1位に挙がり、全体として「人手不足」も変わらず課題として挙がっていた。また、「経費の増加」「利益率の減少」など、物価高が影響しているとみられる項目を挙げる事業所も目立つ結果となった。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し <業種別>



質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

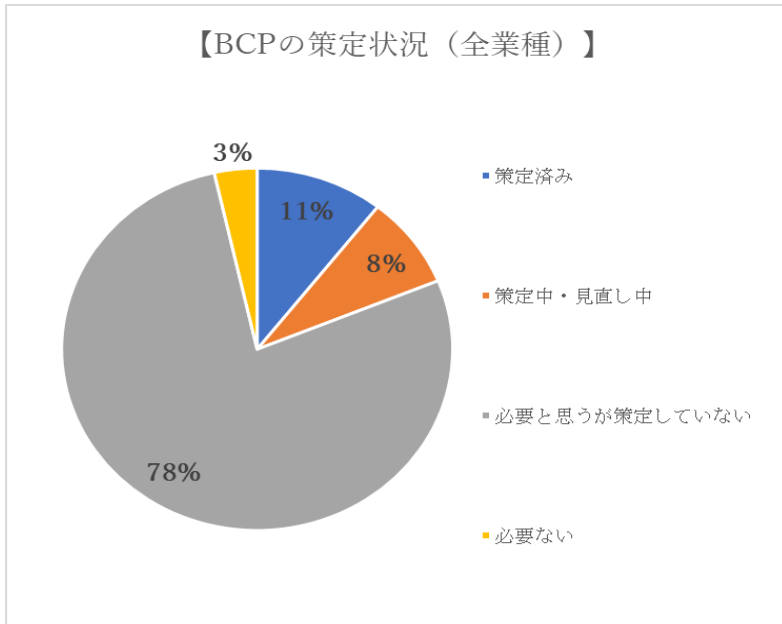
分類		1位	2位	3位
全業種	当期	原材料・仕入価格上昇 (51)	人手不足 (38)	経費の増加 (30)
	前期	原材料・仕入価格上昇 (51)	人手不足 (40)	経費の増加 (34)
建設業	当期	原材料・仕入価格上昇 (14)	人手不足 (13)	売上・受注減少 (7) 経費の増加 (7)
	前期	原材料・仕入価格上昇 (14)	人手不足 (12)	利益率低下 (9)
製造業	当期	原材料・仕入価格上昇 (12)	店舗・生産設備不足・老朽化 (9)	人手不足 (8)
	前期	原材料・仕入価格上昇 (13)	経費の増加 (8)	人手不足 (7)
卸売業	当期	競争激化 (6)	原材料・仕入価格上昇 (5)	消費・需要の停滞 (4)
	前期	原材料・仕入価格上昇 (8)	売上・受注減少 (5)	競争激化 (3) 利益率低下 (3)
小売業	当期	消費・需要の停滞 (8)	原材料・仕入価格上昇 (7)	店舗・生産設備不足・老朽化 (5) 経費の増加 (5)
	前期	消費・需要の停滞 (11)	売上・受注減少 (9)	経費の増加 (8)
サービス業	当期	原材料・仕入価格上昇 (9)	経費の増加 (8) 人手不足 (8)	利益率低下 (6)
	前期	人手不足 (12)	原材料・仕入価格上昇 (9) 経費の増加 (9)	店舗・生産設備不足・老朽化 (6)
その他	当期	原材料・仕入価格上昇 (4)	経費の増加 (3) 人手不足 (3)	消費・需要の停滞 (1) 利益率低下 (1) その他 (1)
	前期	原材料・仕入価格上昇 (3) 経費の増加 (3) 人手不足 (3)	競争激化 (2) 利益率低下 (2)	消費・需要の停滞 (1) 売上・受注減少 (1) 原材料・在庫不足 (1) 店舗・生産設備不足・老朽化 (1) その他 (1)

17 その他

- ・後継者不足
- ・人口減少
- ・借入金の返済
- ・経験者不足、育成

質問3 BCP策定状況について

BCPを策定している企業は全体の2割弱



BCPの策定状況（左図）については、「策定済み」と「策定中・見直し中」を合わせると19%となっており、8割強の企業がBCPを策定していないことを示す結果となった。しかし、「必要だと思うが策定していない」も含めると、BCPに必要性を感じている企業は9割超もあり、BCPよりも優先すべき経営課題を抱えている企業が多く見受けられる状況である。

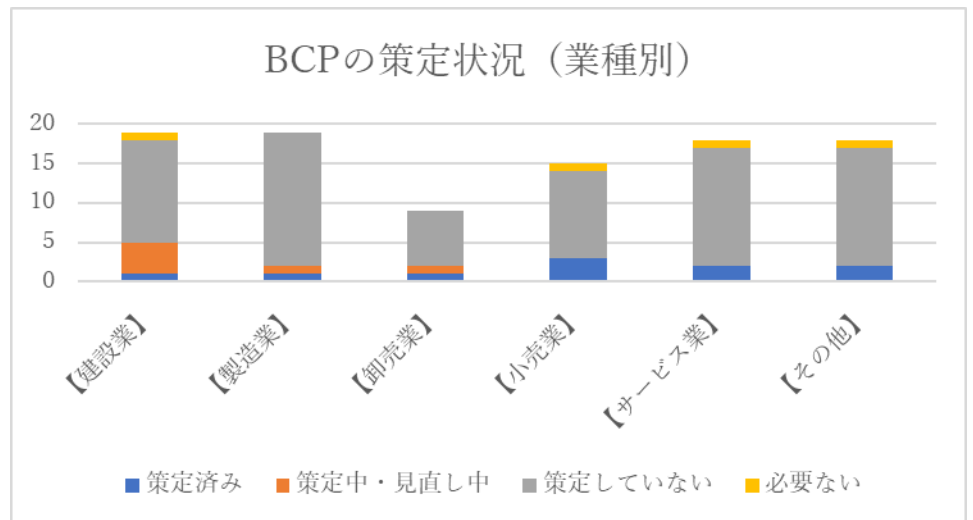
2021年7月～9月期にも同様の調査を行っているが、当時の結果とほぼ変化はなかった。

BCPを作成している企業は全体で16社あり、そのうち、自然災害のみを想定したBCPは6件、感染症を想定したBCPは4件、自然災害と感染症の双方を想定したBCPは6件となっている。

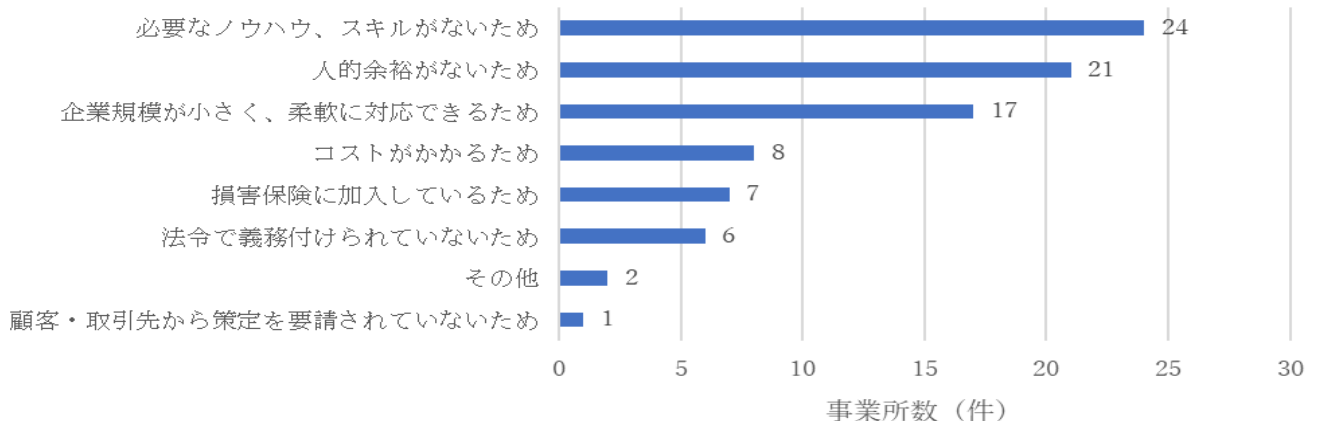
BCPの業種別策定状況（下図）を見ると、「策定済み」と「策定中・見直し中」が最も多

い業種は建設業で、次いで小売業と続き、製造業、卸売業、サービス業、その他の業種は同率となっている。どの業種も策定済み企業が一定数あり、特に従業員数が多い建設業では多くなっている。

BCPを策定していない理由としては、「必要なノウハウ、スキルがないため」が最も多く、次いで「人的余裕がないため」、「企業規模が小さく、柔軟に対応できるため」の順で多くなっている。BCPの策定にハードルを感じている企業が多く、今後の普及啓発の必要性が浮き彫りとなる結果となった。



【BCPを策定していない理由】



質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

【建設業】

- ・資材の値段が上がったままで下がる要素がないので粗利益が下がるのが心配。
- ・三朝町は9月に25%お得なクーポンが発売されます。倉吉市もあるとうれしいです。令和5年はクーポン発売があまりなくて残念です。

【製造業】

- ・今年に入り全国的に不況となっています。また技術者不足も重なり、思うようになっていない状況です。なんとか乗り切らねば…。
- ・大会・イベント等はコロナ前に戻った感はあるが、参加する人数が減っているのでは?と思う。

【サービス業】

- ・当社は、土木技術関連のサービス業ですが、中部地区の高校に土木（建設）専門の学科が無くなってしまっていますが、復活させていただきたいと思います。鳥取県中部地区には、建設会社等の産業がかなり多いと思います。これらの産業の、雇用確保のためにも必要であると思います。
- ・人口減（若者の流出）、賃金の不変、このままだと倉吉で商売ができなくなる。店舗も後継ぎがおらず、時間の問題。どうしようもない。
- ・景況感：飲食業界はコロナ以前には戻らない。
経営上の問題：物価上昇に伴い、設備機器の価格上昇が厳しい。

D I 集 計(前年同期比=2022年4~6月期、来期の見通し=2023年7~9月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	8.0	-6.9	28.4	19.5	-9.1	-11.5
製造業	26.3	-5.3	57.9	15.8	15.7	5.3
非製造業	2.9	-7.4	20.3	20.6	-15.9	-16.2

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	0.0	1.2	3.4	2.2	-9.0	12.8
製造業	10.5	0.0	10.5	10.5	-10.5	26.3
非製造業	-2.9	1.5	1.4	0.0	-8.7	8.9

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.2	-8.0
製造業	21.0	10.5
非製造業	-4.3	-13.0

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	8.0	-6.9	28.4	19.5	-9.1	-11.5
建設業	10.5	-16.7	21.1	5.5	-15.8	-11.1
製造業	26.3	-5.3	57.9	15.8	15.7	5.3
卸売業	50.0	0.0	40.0	30.0	0.0	-10.0
小売業	-12.5	-12.5	6.2	25.0	-12.5	-18.8
サービス業	-5.3	0.0	26.3	26.3	-21.1	-26.3
その他	-40.0	0.0	0.0	20.0	-40.0	0.0
非製造業	2.9	-7.4	20.3	20.6	-15.9	-16.2

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	0.0	1.2	3.4	2.2	-9.0	12.8
建設業	-10.5	-5.6	5.3	0.0	-15.8	22.2
製造業	10.5	0.0	10.5	10.5	-10.5	26.3
卸売業	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0
小売業	0.0	6.3	-12.5	-6.3	0.0	-6.3
サービス業	-5.3	-5.3	0.0	0.0	-21.0	10.6
その他	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0
非製造業	-2.9	1.5	1.4	0.0	-8.7	8.9

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.2	-8.0
建設業	0.0	-5.2
製造業	21.0	10.5
卸売業	30.0	-20.0
小売業	-6.3	-6.3
サービス業	-15.8	-26.3
その他	-40.0	0.0
非製造業	-4.3	-13.0

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

倉吉商工会議所企業景況調査票(2023年4~6月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2023年4~6月)の状況と、今期と比較した来期(2023年7~9月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 02 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 03 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 04 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 05 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 06 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 07 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰 | () |

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】年間を通して油断できない豪雨災害等の風水害や今後起こり得る地震等の自然災害、未知の感染症など様々なリスクに対する備えとして、BCP(事業を継続するための計画)策定の必要性が指摘されています。それに関連して以下の質問にご回答ください。

1. BCP(事業継続計画)の策定状況について

- ① () 策定済み / ② () 策定中・見直し中
 ③ () 必要と思うが、策定していない / ④ () そもそも必要ない

2. 【1で①又は②と回答した方】策定済み又は策定中のBCPの内容について

- ① () 自然災害(風水害、雪害、地震等)を想定したBCP / ② () 感染症を想定したBCP
 ③ () 自然災害と感染症の双方を想定したBCP

3. 【1で③又は④と回答した方】策定していない理由

- ① () 必要なノウハウ・スキルがないため ② () コストがかかるため
 ③ () 人的余裕がないため ④ () 企業規模が小さく、柔軟に対応できるため
 ⑤ () 顧客・取引先等から策定を要請されていないため ⑥ () 損害保険に加入しているため
 ⑦ () 法令で義務付けられていないため
 ⑧ () その他 ()

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。